

(社)日本原子力学会  
第33回倫理委員会議事要旨

日 時 H19.7.25(水)10:00~12:00  
場 所 東京大学生産技術研究所プレハブ棟2階第3会議室  
出席者 北村、大場、班目、安濃田、五百旗頭、小川、鐘ヶ江、作田、清水、谷、  
辻、鳥飼、萩原、三好、矢野(15名)

配布資料

- 資料 33 - 1 第 32 回倫理委員会議事要旨(案)
- 資料 33 - 2 日本原子力学会倫理規程(改訂案見え消し版)
- 資料 33 - 3 原子力設備に係る不正・不適切な行為と再発防止の評価検討タスク作業状況報告
- 資料 33 - 4 関西電力への提言フォローに関する日本原子力学会倫理委員会インタビュー日程
- 資料 33 - 5 2007 年秋の大会企画セッション提案書
- 資料 33 - 6 日本原子力学会倫理委員会(ホームページ)
- 資料 33 - 7 倫理委員会運営申し合わせ改定案/倫理委員会規程改定案
- 資料 33 - 8 第 8 回「原子力に関する倫理研究会」開催ご案内、他
- 資料 33 - 9 安全工学シンポジウム 2007 - 安全工学の創造的発展 -

議事

1. 資料 33 - 1 の前回議事要旨を確認した。
2. 班目幹事より資料 33 - 2 を用いて倫理規程改訂の現状の報告があった。7 月末までは公衆審査の意見募集中であるが、もし追加の意見が寄せられなかったときは資料 33 - 2 の修正案を理事会に提出し、承認を求めることとした。なお、修正案及び意見への説明方法については委員の過半数の賛成が得られていることを確認する必要があり、8 月になったらメールで投票を行うこととした。
3. 班目タスク主査より資料 33 - 3 を用いて原子力設備に係る不正・不適切な行為と再発防止の評価検討タスクの作業状況報告があった。評価尺度について、番号が若いほど重大事案として、不正行為との認識がありながら、組織ぐるみで行ったもの、不正行為との認識がありながら、現場レベルで行ったもの、不適切行為との認識がありながら、組織ぐるみで行ったもの、不適切行為との認識がありながら、現場レベルで行ったもの、不正行為ないしは不適切行為との認識がないまま行ったもの(うっかりミスないしやむを得ない事情があったものを含む)を原則とすること、不正行為は法令違反とし拡大解釈は避けること、課レベル以下なら現場レベル、それを越えれば組織ぐるみを原則とすること、内容を精査して気の毒な事情があるなど情状酌量すべきと認定された場合や、複数

のねつ造・隠ぺい行為が重なっているなど悪質さが目立つ場合には、タスクの合意により、それぞれ1段階に限りランクの変更を行うという方針であることの紹介があった。「組織ぐるみ」という表現は本社まで関与した場合のようにとられる可能性が指摘され、「現場レベル」とともに表現についてはアンケートで意見集約することとした。今後はタスクでの暫定評価結果を8月上旬に各電力に送付して意見を求めると同時に、ランク変更についてもある程度作業を進める。秋の大会までに全事案を一応評価し、発表する。再発防止対策についても評価する予定であるが、秋の大会の発表には間に合わないかもしれない旨の説明があった。

- 4 . 大場副委員長より資料 33 - 4 を用いて、美浜事故に関する見解のフォローのための関西電力、美浜原子力保安検査官事務所、美浜町のインタビュー日程が説明された。なお、今回の関西電力へのインタビューは本店と原子力事業本部とし、美浜発電所は後日あらためて実施する。インタビューの対象者、質問項目についての説明がなされた。なお、本インタビューの際に必要な託児料についても、委員会の支出とすることを了承した。
- 5 . 班目幹事より資料 33 - 5 を用いて 2007 年秋の大会倫理委員会企画セッションに関する説明があった。一般公開であるので、多くの一般の方に参加いただくべく、学会全体としてのプレス発表の際に宣伝のための文面を工夫することとした。
- 6 . 大場副委員長より資料 33 - 6 を用いて、倫理委員会の新しいホームページのデザインの紹介と、サーバーをレンタルサーバーに移す提案があった。サポート費用も含め繰越金をあてることとし、レンタルサーバーに移すことを了承した。なお、学会全体としてもサーバーを移すことを含め検討中であることの紹介があった。
- 7 . 班目幹事より資料 33 - 7 を用いて倫理委員会規程改定案及び倫理委員会運営申し合わせ改定案の説明があった。倫理委員会運営申し合わせを、倫理委員会規程の改定が理事会で承認される 7 月 30 日付けで改定することを承認した。
- 8 . 矢野委員より資料 33 - 8 を用いて第 8 回「原子力に関する倫理研究会」の内容説明があった。
- 9 . 大場副委員長より資料 33 - 9 を用いて 7 月 5、6 日に開催された安全工学シンポジウム 2007 - 安全工学の創造的発展 - の紹介があった。
- 10 . 次回は 9 月 27 日の午後 2 時半より秋の大会会場の北九州国際会議場で開催することとした。